

テレビ電話による、慢性疼痛の認知行動療法臨床試験にご参加下さい。

千葉大学では、考え方や行動を見直して改善する「認知行動療法」の慢性疼痛治療プログラム臨床研究を行っています。テレビ電話システムを使って、おうちでいながら疼痛治療を受けてみませんか？



《対象者》 次の条件を満たす方

- ◆ 身体症状症(慢性疼痛)と診断され研究に同意できる
18～75歳の方
- ◆ 認知行動療法を理解可能で、自宅にインターネット環境があり遠隔治療が可能な方。

《募集期間》

2018年4月～2019年11月

《募集人数》

介入群20名・通常治療群20名

《費用》

金額についてはお問い合わせ下さい

<https://www.cocoro.chiba-u.jp/recruit/> をご確認ください

※千葉大学病院には1回来ていただきます。

注意事項

- ◎ 精神病性障害、双極性障害、薬物依存などを併発しているなど状態によっては臨床試験に参加できません。
- ◎ 試験治療群と対照群にランダムに割り振って試験を行うこと、治療に入るまで16週間ほどお待ちいただく場合があることにご理解・ご協力をいただける方のみ試験にご参加いただくことができます。



研究代表者

千葉大学大学院医学研究院 認知行動生理学教授 清水 栄司

お問合せ

✉ Mail : info-chibacbt@chiba-u.jp

担当 千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学 田口佳代子



千葉大学病院 認知行動療法センター